

福島県人権作文表彰式（作文発表会）の感想から

生徒の皆さんが書いた感想から、主だった意見を拾い集めてみました。
身近な視点から人権について考え、心を耕すいい機会になりましたね。

こうして全校生の知恵を集めてみると、感想も多種多様で、
どこかに皆さんの日頃の行動に生かせる言葉もあると思います。
皆さんの行動を決めるのは、皆さんの「心」なのですから。

（１年生）

困っている人がいたら助けたい
見た目で判断しない
相手を気遣う
差別的ないじめや行動はしない
優しい接し方をしたい
偏見をなくす
世の中にはいろんな人がいることが分かった
周りの人があたたかく接することが、その人にとって大きな助けになる
一人一人を認めることが大切
相手の気持ちを考える
自分らしさをもって生きていく
自分から助けられる人になりたい
自分の考えを押し付けない 周りの考えにとらわれない
その人をちゃんと知ることが大切
気づくだけでなく 行動に移していきたい
私も誰かを傷つけていたかもしれない
自分の当たり前がすべての人に伝わるわけではない

（２年生）

その人にはその人の幸せがある
障がいがあっても、それが個性
違いを認めて尊重すること
様々な個性を受け入れる自分でありたい
皆人権を持っていて平等
一人一人が同じ人間なんだ

言葉はすごい力を持っているから考えて使おう
人を傷つけないように 一度とまって考える
私にとって何ができるかじっくり考え、それを行動にできたらいい
発表から自分のこれまでの行動を見直すことができた
周りに流されない
障害をかわいそうと思わず人として尊敬していきたい
難しく考えすぎず勇気を出して行動したい
思いやりの延長線に人権がある
迷わず助けようと思った
かわいそうかどうかは自分で決める
見目で差別される社会を変えていきたい
人同士がもっと助け合える社会になったらいいな
みんなそれぞれ悩みだったり気持ちだったりを抱えている
自分と違う人をみても平等に対応する
人を笑って傷つけるのは簡単だけど、人と一緒に笑って笑顔にするのは難しい
自分らしさを追求した人生を送る
違いがあった方が、同じよりも楽しいんじゃないか
かわいそう 大変そう も無責任に言うべきではない
多様性の時代だからこそ人の個性を尊重するべきだ
お互い歩み寄ることこそが大切
日常生活において私たちは自分の人権をしっかり守らなければならない
とても共感できた
あんなふうに臨機応変に優しくしたい
誰かのために 誰かに感謝されるような人間になりたい
自分の考え方が変わった
どんなに時間がかかってもやり遂げる人がすごい
笑いが人の痛みの上で成り立つ場合がある
人は誰でも見えない苦しさや悩みを抱えていると知りました
いつか手話を覚えたい
正しい対応ができるように障がいや人権についてよく知ることが必要
自分が誰かのためにできることは…味方になること
「人」と「人」として助け合うことが当たり前になってほしい
来年の人権作文は「自分らしく」をテーマに書きたい

身の回りにも人権に関わるものがたくさんある
見て見ぬふりはしない
相手を尊重する（認め合う）
結束していじめに立ち向かってくれることを願っています
人を支えるというのは何かを あらためて考えさせられました
わかっていない人に 人権とはどんなものなのかしっかり教えたい
自分の発言や行動が 誰かの不快になっていないかを考えて行動する
人権を 軽く見ていたかもしれない。今後はもっと深く考える時間を設けたい

（3年生）
個人の権利を侵すことがないようにしていきたい
自分ももしかしたら…
自分らしく生きる権利
同じ人として協力し合い、支えることができるようにする
決めつけをやめようと思った
権利は平等ということを改めて理解することができました
自分の好きを貫き通していこうと思った
自分が皆平等に接しているかなど俯瞰してみていきたいと思った
少しずつでも世の中が変わっていけたらいいな
互いに助け合えるいい未来がつかれるよう自分なりに行動していきたい
お互いに助け合うって考えがいい
誰かが悩んでいたならその人に寄り添ってあげる
人権について考えることは、自分や相手の未来について考えることにつながる
互いの違いを理解して向き合っていくことがこれからの共生社会では大切
みんな同じ人だからこそ、個性を尊重していきたい
一人の人間として接する意識
もっと未来の社会について考えていきたい